



学校だより

福生一小ホームページ <http://fussa-1e.hs.plala.or.jp/>

令和4年9月30日
10月号
福生市立福生第一小学校
校長 高瀬 智子

運動会での大きな成長

校長 高瀬 智子

運動会は雨天のため、26日に実施となりましたが、保護者、御来賓の方等、多くの方に、御参観いただきました。子どもたちに温かい応援を、誠にありがとうございました。また、鑑賞に当たっては、出場する学年を優先するエリアの移動等、御協力ありがとうございました。

全校児童がそろって行うこと、各学年が3種目を行うこと、また、保護者の方に参観していただく形を取るのには、3年ぶりとなりました。特に、子どもたちが活躍する場を多く取りたいと考え、各学年3種目と選抜リレーを午前中の開催ではありますが、実施いたしました。初めての形式であり、計画・準備に至っては検討を重ね、教職員で知恵を出し合ってきました。それは、子どもたちが輝く運動会を実現させたいという思いからです。

今年度のスローガン、「待望の運動会、みんなで協力！めざせ優勝！」は、運営委員会の子どもたちが、様々な意見を交わし、今年の運動会にふさわしい言葉は何かを真剣に考え、創り出されたものでした。そのスローガンをまさに有言実行で、練習の段階から、子どもたちは頑張り、本番へと臨みました。徒競走、競技では力を出し切って頑張り、演技は、低・中・高学年ともに、真剣に、そして、楽しみながら表現していました。選抜リレーでは、走者の見事な走りに、一体となって応援し、大いに盛り上がりました。高学年児童は係の活動においても一生懸命に行い、運動会運営の支えとなっていました。

どの学年も限られた時間の中で精一杯取り組み、本番での姿となりました。子どもたちのはつらつとした表情、元気に躍動する姿を見ることができ、胸が熱くなる思いでした。子どもたちは、今回の経験を通して、本番の大切さだけでなく、それまでに至る練習において、ひたむきに努力することが結果となって表れるということを感じられたことと思います。

運動会では、「力いっぱい頑張る」「皆で協力し、力を合わせる」「一体となって表現し作り出す」ことを通して、子どもたちは清々しい心地よさ感じ、自信へとつながり、大きく成長しています。そして、この経験は、これからの生活に必ず活かされてくると考えます。

さて、秋も深まり、過ごしやすい季節となってきました。秋は実りの秋と言われています。古来より、この季節は穀物や果実の収穫が多くなり、人々の生活を潤す季節でありました。昔は、この実りの季節が、生活を送る上でとても重要であり、その実りを祈念するお祭り等が各地で行われてきました。

学校生活においてもこの季節を感じ、楽しむとともに、実り多い生活を送れるようにしたいと思います。今後、各学年は、5年生は名栗移動教室、6年生は市の音楽会、ひまわり学級は宿泊学習が予定されています。また、その他の学年も社会科見学等の学習があります。日常の生活を大事にし、一つ一つ子どもたちの成長につながるようにしてまいります。

また、来年度迎える150周年記念行事に向けても取組を始めていきます。子どもたちが150周年を迎える意義などを理解して、みんなで福生第一小学校の歴史や伝統を大切に、未来の福生第一小学校、福生市、地域に思いを馳せていけるようにしたいと思います。保護者や地域の皆様にも、御支援・御協力をいただきながら、この大きな節目となる記念行事を子どもたちの心に残るものとしていきます。

10月の祝日 祝日の趣旨について御家庭でも話題にしてみてください。

スポーツの日 10月10日 **スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で活力ある社会の実現を願う**

【参考】国民の祝日に関する法律（祝日の日は2022年のもの）



1, 2年の表現「ペコリ ダンス NIGHT」では、ポンポンを手に、曲に合わせてチアダンスをかわいらしく踊りました。



3, 4年「レッツ ダンス RYUKYU」では、パーランクーという太鼓を使って、沖縄の民族舞踊エイサーを元気に表現しました。



5, 6年「Departure」では、ダンスや、組体操の1人・2人技、波などを迫力満点に表現しました。